

# KOCHI ROTARY CLUB

2021  
2022

SINCE 1937



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために  
2021-22年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3474回 2021年10月12日 2021年10月19日発行

### ● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。先週お配りしたガバナー月信に、この8月末の四国74クラブの会員数一覧表が載っています。その中で私が注目したのは各クラブの女性会員数です。高知では多くの女性が活躍されていますので、どのクラブも同じような形かなと思っていましたが、何と女性会員0のクラブがまだ21クラブもあります。



また、理事会で、高知クラブのメンバー構成について情報共有しておこうということでデータの報告がありましたので、皆さんにもお知らせいたします。本当に私達のクラブはシニアが大活躍していることが分かります。まず、90代・2人、高橋淳二先生と尾木謙三さん、80代・西山俊彦さんを筆頭に5人、70代・出来さんを筆頭に14人、60代が最大勢力で30人、ここまでで91名中51人。私は60代の一番下っ端ですから、まだ真ん中ラインには到達していません。千頭さんに藤田さんや私は「老人クラブジュニア隊」と名付けられまし

たが、その所以がよく分かりました。50代・28人、40代・12人。岡内聡典さんが一番若くて41歳。

40代の12人中3人が転勤族。残り9人のうち3人が今年入会の地元の方々です。前年度、中村会長のときは、40代の地元入会の方は6人でした。大体昔からそんなものじゃないかと思ひ、13年前の2008年のクラブ計画書を見てみると、何と18人。この13年間で3分の1ぐらいに減っていることが分かりました。中村さんからは一つだけ、若い世代で、ロータリーに相應しい方々を見つけて、ぜひ仲間に入ってもらってくださいと言われてました。中村さんは、病氣療養中で今月から休会扱いになっていますが、元気になって戻ってこられたときには、仲間が増えましたと報告できればと思います。引き続き、皆さんからも相應しい方の紹介をお願いしたいと思います。

メンバー構成を見た杉本さんが「これからは、年配の方々にも頑張ってもらおう」とおっしゃってましたので、来年度は70代、80代、90代の皆さんにも委員長のお声が掛かるかもしれません。活躍のチャンスだということをお伝えして、本日も Let's enjoy our 高知ロータリー



### ■ 本日のプログラム [10月19日]

新会員スピーチ

(有)蔵多堂 代表取締役 岩田 和久 会員  
「料理店の地産外商への挑戦」

会 長	入 交 章 二
副 会 長	杉 本 芙 美 子
幹 事	中 澤 清 一
副 幹 事	佐 竹 新 市
会報責任者	亥 角 政 春

## ● ローターソング「奉仕の理想」

## ● 来訪ロータリアン及びお客さま

NPO砂浜美術館 理事長 村上健太郎氏

## ● ゲストスピーチ

### 地域資源を活用した砂浜美術館の取組

NPO砂浜美術館 理事長 村上 健太郎 氏

私は2002年、神奈川から移住してきました。砂浜美術館にあこがれて、特に背負うものもなかったので単身で、ずっと定住しようみたいな気負いもなく大方町に来ました。そこで、縁あって結婚して子供ができて、これも縁あって借りていた古い民家を土地ごと譲ってもらって、やっと地域に根が張れたかなと思っていたら、先日、地区の世話をしている方に「お前、墓買わんか」と言われました。私は一人息子で、高齢の両親がまだ神奈川にいたので「墓はちょっと」とお断りしたのですが、とはいえ、子どもたちは黒潮町がふるさとで、生まれ故郷ですので、何とか仕事を通じてこの町を元気にしていきたいという気持ちを強く持っています。



砂浜美術館は、Tシャツがヒラヒラしているときだけではなく、何もない普通の砂浜も美術館で、24時間365日オープンしています。BGMは波の音、夜の照明は月の光というちょっと変わった美術館です。彫刻や絵ではなく、日頃当たり前に目にしている自然、砂浜の鳥の足跡、波がつくる砂の模様、卵を産みにくるウミガメ、沖を泳ぐクジラ、そういった地域の資源に価値を見出して、それを美術館の作品に見立てています。

そして「私たちの町には美術館がありません。美しい砂浜が美術館です」という考え方を伝えていくこと、地域資源から新しい価値を見出すこと、が私達の大きなミッションです。そのための具体的な事業として、Tシャツアート展を始めとしたシーサイドギャラリー、アートを切り口にしたイベントだけでなく、砂浜に隣接した都市公園管理、ケーブルテレビ番組制作、観光振興事業など、砂浜を中心としたエリア一帯を活動フィールドにしています。そういった中で、Tシャツアート展などのイベントは、町の観光振興という切り口とともに、砂浜美術館といった考え方を分かりやすく伝える一つの手段だと、我々は位置づけてます。

また、建物のない美術館ですから、館長も人でない方が想像力が広がるのではないかとということで、1989年の活動開始時点から館長はクジラです。よく事務所に「館長さん、いますか」と電話がありますが、代表者の私のことだろうなと思いつつ「館長は海にいます」と答えます。ただ、なかなか館長を連れて回ることではできませんので、私達は胸元に



クジラのピンバッジを付けていて、これが館長ですと紹介します。遊び心を持って町を楽しむということと、とても大切にしたいと私達は考えています。

砂浜にはいろんな物が流れ着きます。特に台風の後などは多くて、それを全部ゴミ、ゴミと思ったら拾うのもしんどくなります。そこで、少し見方を変えて、砂浜が美術館になったように流れ着いた物にもわけがあるだろうと、それにキャプションを付けるとりっばな美術館の作品に変わります。

ヤシの実、モダマの種（地域によっては、幸運の種子と言われる）、碁盤の足（囲碁盤の足に似ている）など、遠くから流れ着いた植物からは、黒潮の旅をイメージすることができます。ハリセンボン、タツノオトシゴなどの生き物やカキの養殖のパイプ、サンダルの型抜き、台湾などのお祭りで使うお面など。また、以前はレジンペレットというプラスチックをつくる時に出る生成物がものすごく多く流れ着いて、砂よりも多くなるんじゃないかと言われたことがありましたが、規制が進んで今はほとんど見かけなくなりました。代わりに今はマイクロプラスチックの問題が世界規模で言われています。そういった環境の変化も感じ取ることができます。

あるとき、メッセージボトルが流れ着きました。拾ったのは今の黒潮町長です。アメリカのブライアン君という11歳の男の子が、理科の実験で海流の調査をするために1,106個のビンを流したそうです。そのうち30カ国、200個が拾われたのですが、日本からは、5年かかって高知のこの砂浜に届いた一つだけだったそうです。今は、メールで海外ともすぐつながる時代ですが、このように、長い時間をかけて流れ着いたものから、コミュニケーションが生まれる楽しさもあると思います。

最後、超お宝の漂着物です。拾った人は、最初はよく分からなくて置いていたのですが、気になって中を開けると、出てきたのは20万円相当のダイヤの指輪。落とし物として警察に届けましたが半年たっても落とし主が現れず、砂浜美術館の物になりました。

我々はこうして拾い集めたもので、年に1回、漂流物展を開きます。ポスターやチラシは、砂浜美術館の生みの親であるデザイナーの梅原 真さんが作ります。例えば、サンダルの表裏が顔のように描かれたポスター。通常、決して出会うことのないサンダルの表裏がデザイン上で出会って、タイトルは「はじめまして」。もちろん、根底には海の環境を守ろうということがありますが、それはあまり前面には出さずに、くすつと笑えるもの、これ何だろうと思うもの、そういったものを一つのツールにして、コミュニケーションが取れるように





なれば、と思っています。

そんなことをしていると、自分たちの町でも漂流物展をしたいと言ってくれる人たちがいたり、子どもたちのワークショップをしたり、日本全国の浜歩きをしている人たちの集まり、漂着物学会で海の情報をまとめて、いろんな切り口から楽しんだり、考えたりする取り組みも行っています。漂着物学会の趣意書には「漂着物はとってもおしゃべりです。地球のこと、生き物の話、昔と今の人間の生活、芸術の魅力、文学の面白さ、たくさんたくさん知っています。私たちは、そんな漂着物の話に耳を傾けるのです」と書かれています。

こういった考え方をいろんな分野に応用して、もっと町を楽しむ、グローバルな視点を地域の中で考えて、地域のものを楽しむというのが砂浜美術館です。立地的には決して優位な場所ではありません。でもローカルな場所から世界のこと、地球のことを考えて、自分たちの住んでいる町を楽しむ。その考え方のヒントが砂浜美術館には詰まっていると

思っていますし、私もその可能性をこれからも、関係する人たちと広げていけたらと思っています。

今月末からTシャツアート展を開催しますが、年々砂浜が減っています。単純に地球温暖化の話だけではないと思いますが、そのうち砂浜がなくなってしまうのではないかとという危機感があります。秋の松林でのキルト展では、松枯れの問題。ホエールウォッチングでは悪天候で船が出せない等々、ここ数年、本当に環境の変化を実感しています。普通の美術館では、作品が劣化したり壊れると保存修復師がいて修復します。我々も作品である自然の価値を具体的にどうすれば保っていけるのか、修復していけるのか、技術関連のところなどと連携しながら、自分たちの町の大事な作品を守る活動をしていきたいと思っています。

皆さんも、もし時間があれば近くの砂浜を歩いてみてください。何か落ちていないか目を凝らして探してみると、また違った砂浜の楽しみ方ができるのではないのでしょうか。



◇ 例 会 変 更 ◇					
高知南RC	10月21日	ロータリー休日(阪)	高知西RC	10月22日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	10月26日	ロータリー休日(旭)	高知中央RC	10月28日	職場例会(城)
高知北RC	11月 1日	ロータリー休日(三)	高知中央RC	11月 4日	休会(城)
高知ロイヤルRC	11月16日	→26(金)4RC合同夜間例会に振替(旭)	高知中央RC	11月18日	ロータリー休日(城)
高知北RC	11月22日	ロータリー休日(三)	高知南RC	11月25日	ロータリー休日(阪)
高知西RC	11月26日	4RC合同夜間例会(三)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル


**ニコニコ箱** 【敬称略】

- 入交 章二 先週の例会後、関さんから「閉会が少し早かったよ」と、そつと優しく(繰り返します。そつと優しく)アドバイスをいただきました。先輩からの温かいご指導にありがとうございますのニコニコです。
- 小林 達司 田岡さん、水野選手のドラフト3位指名おめでとうございます。今後の活躍、大いに期待します。当行野球部も皆様に応援いただいた結果、第92回都市対抗に出場することになりましたが、今回はベンチ入りができず、私が少し残念です。
- 坂元 陽祐 先日は妻の誕生日に素敵なお花を頂きありがとうございました。考えてみれば、初めて花を贈る機会をいただいたと思います。ありがとうございます。ニコニコ。
- 隅田 和稔 妻の誕生日にきれいなお花を頂きありがとうございました。妻となかなか連絡がとれなくて、出来さんにご迷惑をおかけしたようです。申し訳ありませんでした。ちなみに【私妻】はめったに家にいないので、知り合いからは「奥さん」ではなくて「外さん」と言われています。
- 松村 豊 妻の誕生日にきれいなお花を手配いただきありがとうございました。
- 西山 彰一 この度、大役を仰せつかり身も心も引き締まる思いです。高知が元気で、面白く、幸せな雰囲気包まれる毎日であることを願って精進をいたします。これからもよろしく願い申し上げます。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
10月12日	(-9)91	58	22	2	73%
9月29日	(-8)91	63	10	8	85%

**● 累計額 [10月12日現在]**

ニコニコ箱	266,000円	ロータリー <small>さんさん</small> 基金	42,308円	ポリオ募金	0円
-------	----------	------------------------------	---------	-------	----

**■ 次週のプログラム [10月26日]**

ベテラン会員スピーチ  
 パストガバナー 関 裕司 会員  
 「温故知新・私の高知RC」

創 立 昭和12年10月  
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階  
 TEL(824)8660 FAX(824)2529  
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>